

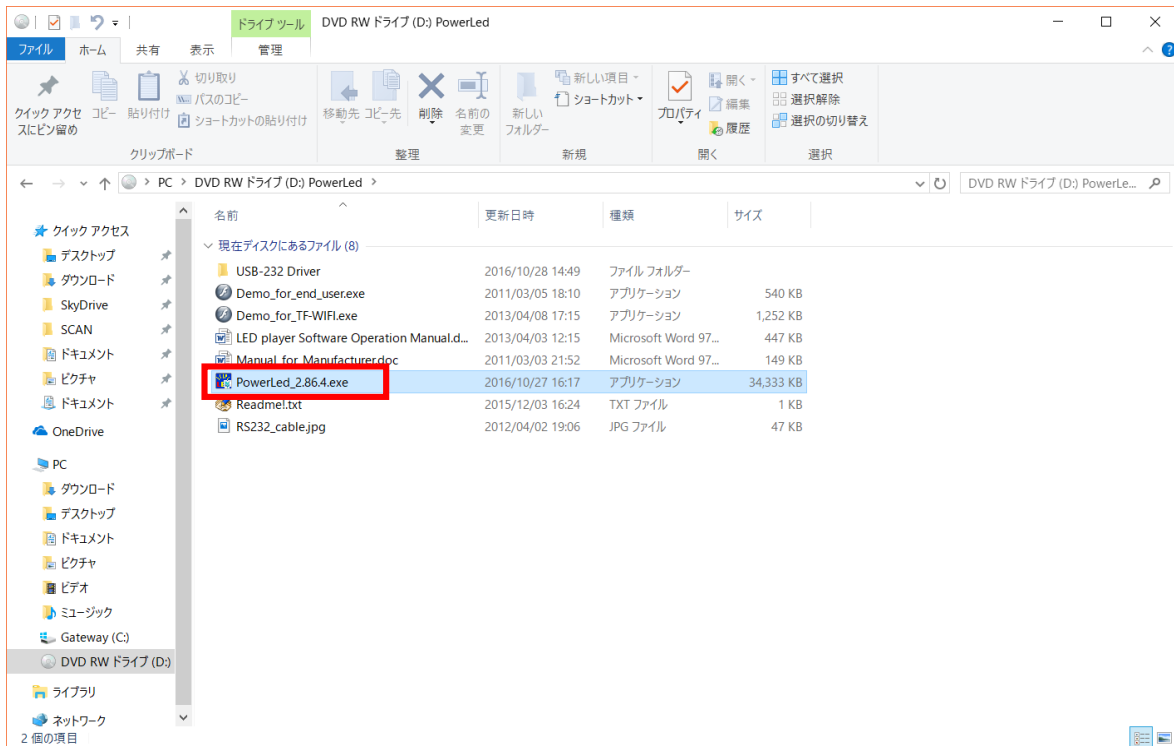
デジタル LED サインボード 取扱説明書

[はじめに / ご確認ください]

1. 本体の取り付け向きをご確認ください。本体の正面(LED表示面がある方)から見て、USBの差し込みと電源コードの位置が向かって「右側」にあれば、天地が正しい状態です。
一度電源を入れて、USBフラッシュメモリを差し込めば、設定が自動で走り、文字が表示されますのでそれでご判断いただくのが確実です。
2. 付属のソフトウェアは、Windows専用となっております。Macでは使用できませんのでご注意ください。
3. LED表示内容の更新には、USBフラッシュメモリが必要です。本商品には付属しておりませんので、別途お客様でご用意ください。

[ソフトウェアインストール]

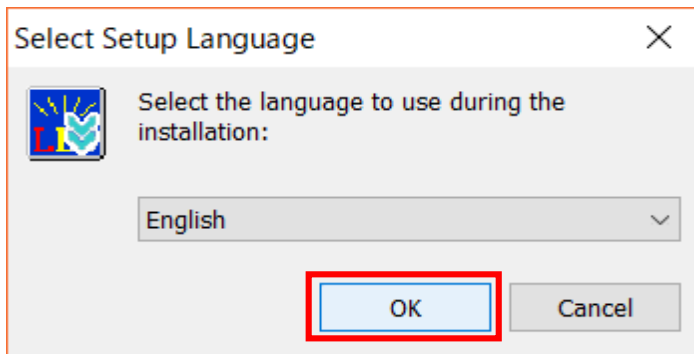
1. 付属の CD-ROM を光学ドライブにセットします。
2. 開いたウィンドウの中に「English」と「中文」の2つのフォルダがあるので、「English」のフォルダをダブルクリックして開きます。開いたフォルダの中の「PowerLed_x.xx.x.exe」というファイルをダブルクリックします。
 (※ x にはソフトウェアのバージョンの数字が入ります。下記の画像例では PowerLed_2.86.4.exe)



3. お使いの PC によっては、下記のような警告画面が出る場合がありますが、そのまま「はい」をクリックしてインストールを続けてください。



4. 言語の選択画面が出るので「English」を選択します。(日本語化は、インストール後に設定できます)



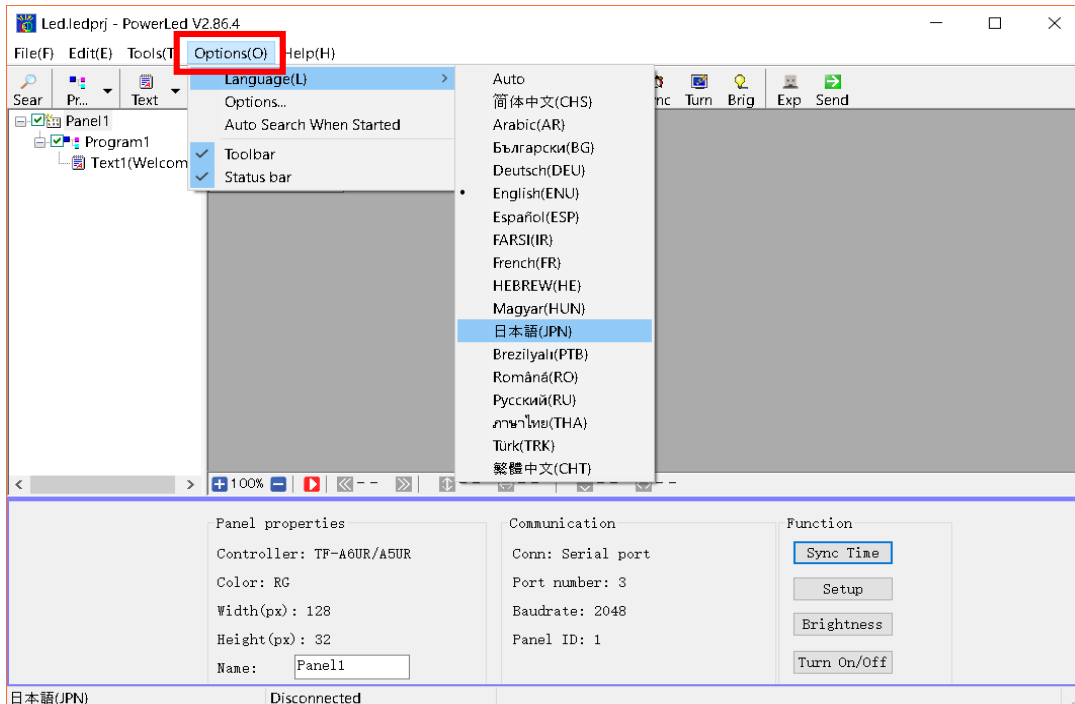
5. セットアップウィザードが起動しますので、すべて「Next」をクリックしてください。
途中の画面で出てくる「Create a desktop icon」には必ずチェックを入れてください。(デフォルトではチェックが入っている状態なので、何もせずに進めば問題ありません。)

最後の画面で「Finish」ボタンを押せば、インストールの完了です。デスクトップにアイコンが作成されていることをご確認ください。アイコンをダブルクリックすると、ソフトウェアが起動します。

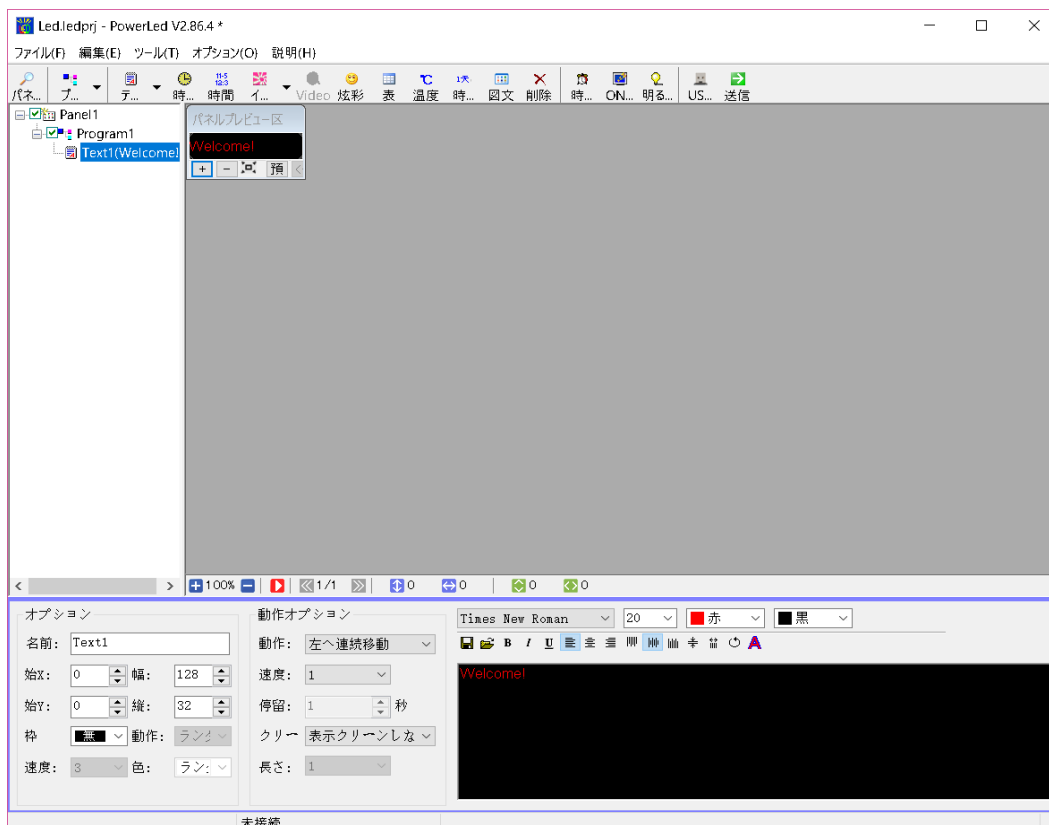


[ソフトウェア初期設定]

1. PowerLed のアイコンをクリックして、ソフトウェアを起動します。
2. メニューの「Options(O)」から [Language(L)] → [日本語(JPN)]を選びます。



3. ソフトウェアの表示が日本語に切り替わります。



[表示データ作成手順]

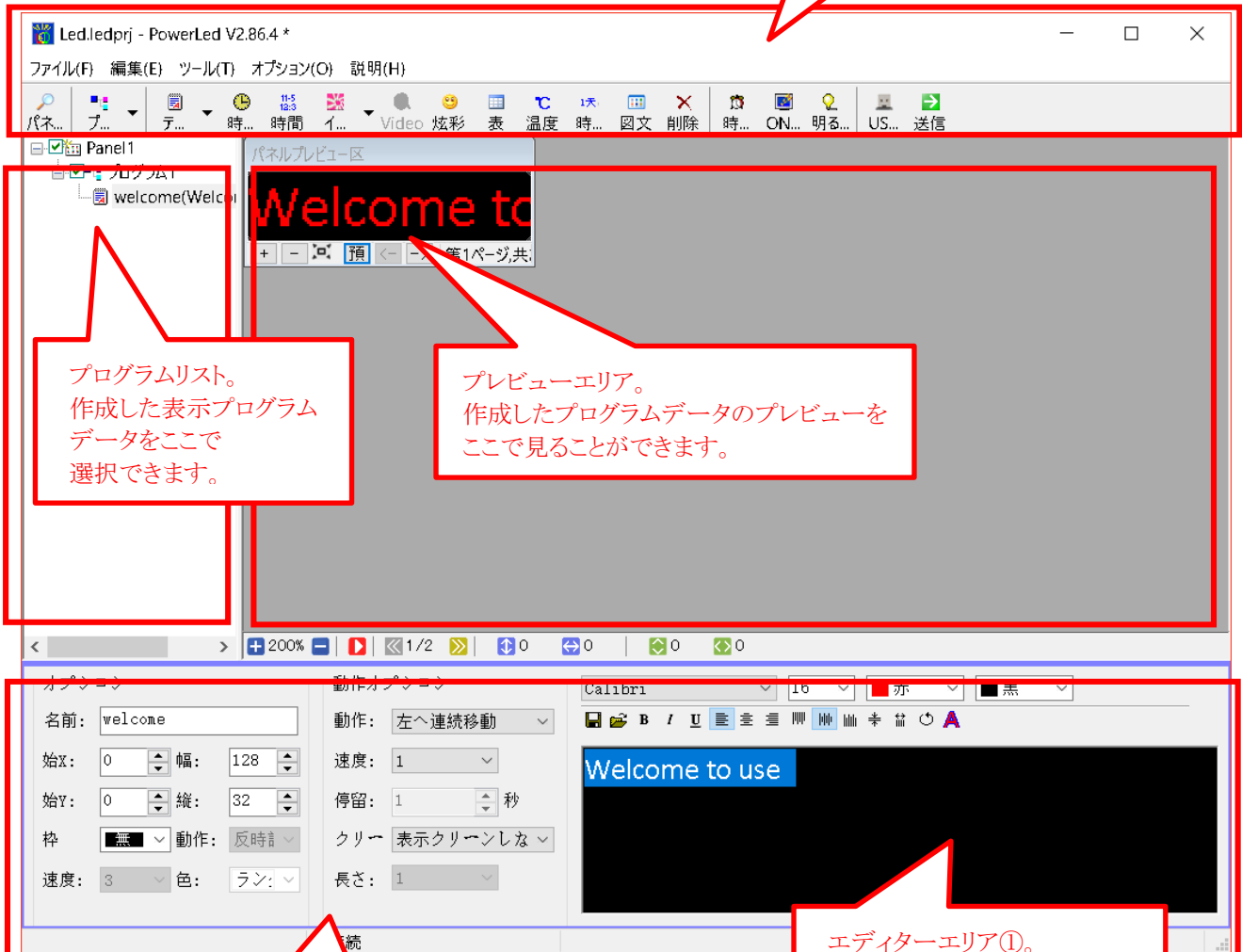
1. デジタル LED サインボードの電源を入れ、本体に USB フラッシュメモリを挿します。
USB フラッシュメモリが自動でデジタル LED サインのディスプレイサイズや解像度を読み取ります。
2. デジタル LED サインのディスプレイに「E100」と表示されたら、USB フラッシュメモリを本体から抜き、ソフトウェアをインストールした PC に挿します。
3. PorwerLed のアイコンをクリックして、ソフトウェアを起動します。画面上部のメニューから [ツール] → [パラメータをインポート(*.tfr)...] を選択します。USB フラッシュメモリに保存された本体のサイズや解像度が自動でソフトウェアに読み込まれますので、ディスプレイで表示させたいテキストや動作を編集ソフト上で設定します。

※速度は、通常は 20 が標準となっています。
※各サイズ共通の編集ソフトとなっているため、プレビュー(速度)が実際の表示と異なる場合がございます。
あらかじめご了承ください。
4. 表示内容の設定が完了したら、USB フラッシュメモリに編集したプログラムデータを保存してください。
5. USB フラッシュメモリを PC から取り外し、デジタル LED サインの本体へ再度挿します。
6. 本体のディスプレイに「OK」と表示されれば、プログラムデータの更新が完了です。
USB フラッシュメモリは「OK」の表示後、取り外してください。

[ソフトウェア使用方法]

1. ソフトウェアの構成は下記のようになっています。

ツールエリア。
ここで各種ツールを選択します。



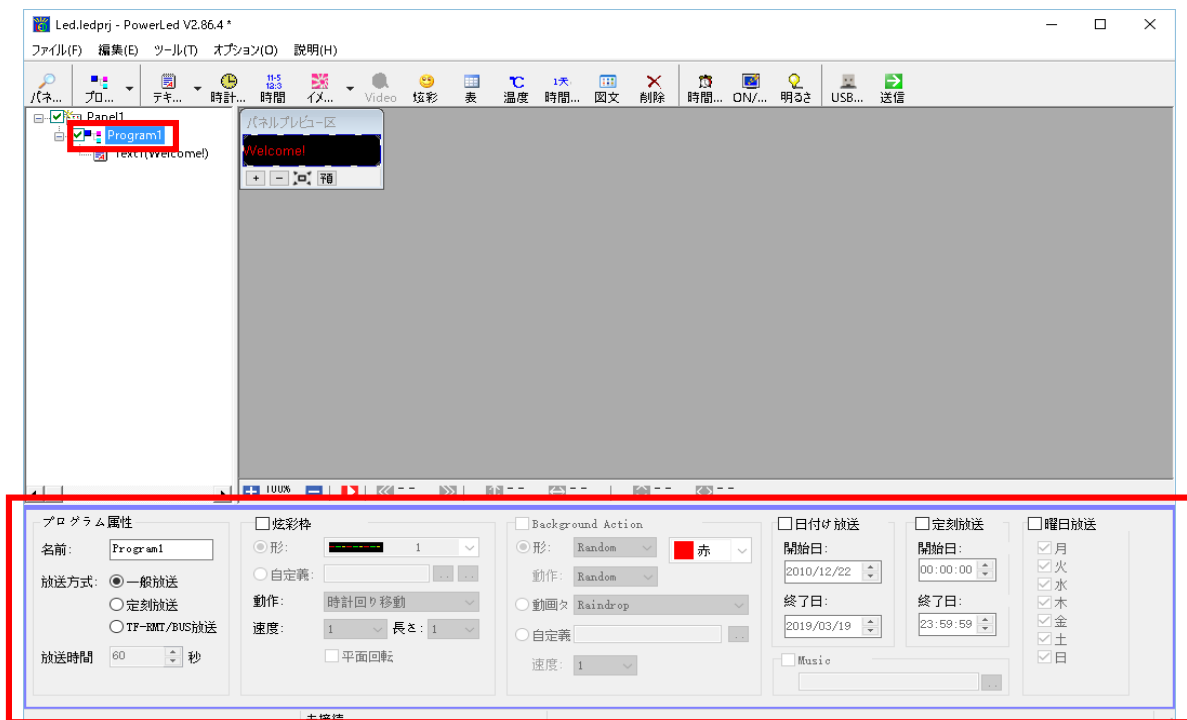
プログラムリスト。
作成した表示プログラム
データをここで
選択できます。

プレビューエリア。
作成したプログラムデータのプレビューを
ここで見るすることができます。

エディターエリア①。
ここに表示させたいテキストを
入力します。

エディターエリア②。
右側で入力したテキストのエフェクト
(色・サイズ・動作等)をここで設定します。

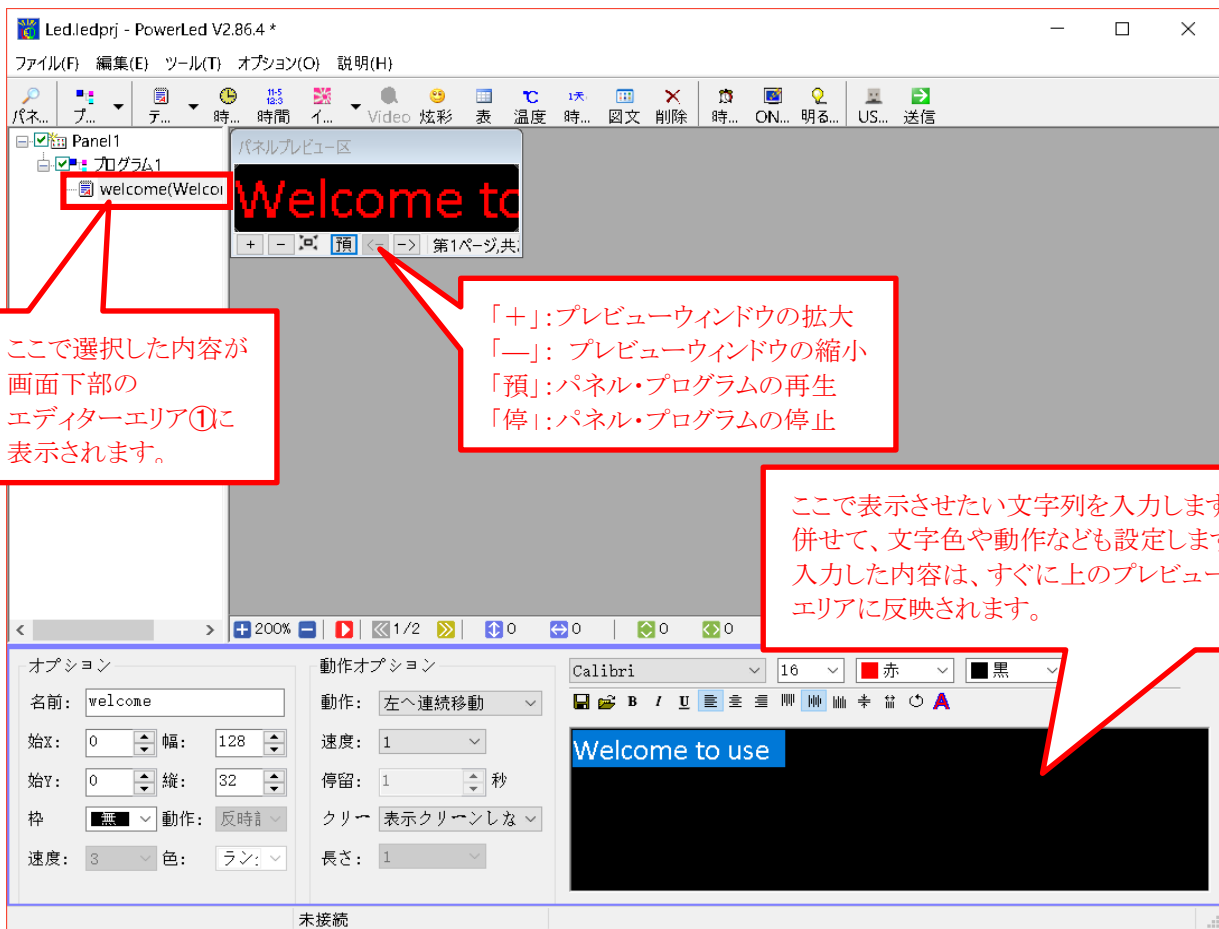
2. プログラムリストのプログラム名(下画像の Program1)を選択すると、エディターエリアが、プログラム全体の設定編集画面に切り替わります(※一部、日本語化されていない箇所もあります)。必要に応じて、設定を行ってください。



3. プログラム名を選択した状態でツールエリアのアイコンをクリックするか、プログラム名を右クリックして開いたメニューから、テキストや画像等、プログラムに追加することができます。デフォルトでは、「Welcome!」というテキストが1つ入っています。各種ツールの内容は以下の通りです。

	PCに接続されているデジタルLEDサインボードのコントロールカードに関する情報を探す		新規プログラムをプログラムリストに追加する
	新規プログラムをプログラムリストに追加する		プログラムにアナログ時計を追加する
	プログラムにデジタル時間を追加する		プログラムに画像を追加する(bmp、jpegなどの画像フォーマットをサポートしています。)
	使用不可		プログラムにアニメーションテキストを追加する
	使用不可		使用不可
	使用不可		プログラムにドキュメントウィンドウを追加
	選択したプログラムや情報を削除す		コンピュータとコントロールカードを時間同期させる
	LEDスクリーンをブラックアウトにする		明るさのグレードを調整する(ディスプレイの明るさを調整するか、明るさを時間的に変化させる)
	編集した内容をUSBフラッシュメモリにエクスポートする		編集したコンテンツをUSBフラッシュメモリに書き出す

4. テキストを編集するには、プログラムリストの該当プログラムの中にあるテキストを選択し、エディターエリアで編集を行います。編集した内容はすぐさまプレビューエリアに反映します。
 動作を確認する場合は、プレビューエリアの「預」ボタンを押すと再生が開始されます。



5. プログラムの作成が完了したら、保存を行います。
 PC 内に保存する場合は、画面上部のメニューから [ファイル] → [保存(S)] で上書き保存、
 [ファイル] → [保存(A)] で新規保存(別名保存)ができます。
 USB フラッシュメモリに保存する場合は、[ファイル] → [USB ディスクに(*.tfu)...] をクリックします(ツールメニューの右から 2 つ目の「USB...」でも同じ動作を行います)。

※本体にプログラムを読み込ませるために、USB フラッシュメモリには必ず保存してください。

PC にはバックアップとしてデータを保存しておくことをお勧めします。

6. USB フラッシュメモリにプログラムを保存したら PC から取り外し、デジタル LED サインボード本体へ再び USB フラッシュメモリを挿します。
7. 本体のディスプレイに「OK」と表示されれば、データの更新が完了です。自動で新しいプログラムが表示されます。(USB フラッシュメモリは、「OK」の表示後に取り外してください。)

<注意事項>

動作オプションの速度は通常は 20 が標準となっていますが、本ソフトは、デジタルLEDサインボード各サイズ共通の編集ソフトとなっているため、プレビュー(速度)が実際の表示と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。正しい表示速度は、本体側へデータを取り込ませて、実際に表示させて確認してください。